



## 2017年度相談室活動報告

東洋英和こころの相談室 2017年1月～12月間での来談状況、相談状況についてご報告いたします。

### ◆ インテーク面接について

インテーク面接は相談申込後、初めてお会いする面接のことで、今後の相談の流れを作る大切な面接です。そのため、インテーク面接は主に臨床心理士資格をもった相談室スタッフ等がお話をおうかがいしています。

2017年に実施したインテーク（初回面接）は78件でした（表1参照）。例年26～59才の申込みが多く、全体の約7割前後を占めています。

表1 年齢別インテーク件数

年齢(才)	男性	女性	合計
0～12	1	3	4
13～18	4	2	6
19～25	3	6	9
26～39	10	19	29
40～59	6	23	29
60～	0	1	1
合計(件)	24	54	78

### ◆ 面接回数について

面接実施回数は1,271回で（表2参照）、前年より100回程度増加しました。援助の形態で分類すると、約8割を心理面接が占めており、他、未成年者（児童・生徒）を対象としたプレイセラピー、他機関からの依頼による心理アセスメントがそれぞれ約1割ずつ占めています。

表2 年齢別総面接回数

年齢(才)	計
0～12	54
13～18	102
19～25	99
26～39	486
40～59	463
60～	67
合計(回)	1,271

### ◆ 相談内容について

相談内容は、2016年度と同様、2017年度も医療領域に関する問題が最も多くなっており、全体の4割を占めています。近年、「発達障害」という概念が多用されるようになり、医療機関から相談室に検査や面接目的に紹介されるケースも年々増えています。一方、昨年まで3割を占めていた、人生の悩みに関する問題は、はじめて3割を下回りました。



表3 相談内容別面接件数

領域	件数
医療機関に関する問題	51
人生の悩みに関する問題	37
教育領域に関する問題	29
産業領域に関する問題	8
福祉領域に関する問題	9
司法領域に関する問題	0
その他	4
合計(件)	138

## 特別ワークショップ〈予告篇〉

昨年好評を博した、大学院人間科学研究科主催の特別ワークショップですが、本年も第4回が11月22日(木)に行われます。ご講師として、アメリカでご活躍されている大谷彰先生をお招きし、「トラウマ治療におけるマインドフルネスの活用」という演題での公開講義を予定しております。「マインドフルネス」という言葉は最近心理臨床の分野に限らず様々な分野で耳にするようになりました。ぜひ、この機会に理解を深めていただければと思います。詳細につきましては、チラシ等でお知らせいたします。

どうぞ期待ください。



### 新スタッフの紹介

この4月から、相談室に新たなスタッフが加わりました。皆さま、どうぞよろしくお願い致します。

～ 北原 知典さん (専門相談員) ～

みなさま初めまして。

4月より相談室のスタッフになりました、北原知典と申します。

臨床の仕事に携わるようになり、気づくとはや24年の月日を重ねました。臨床心理士、そして公認心理師を目指す大学院生と接すると、初めてケースを持つ時の不安、期待、そしてクライアントの反応に一喜一憂し、時に傷つくなど多くのエネルギーを込めて面接をしていた頃の間が思い出され、くすぐったい気持ちになります。そんな臨床の中でも貴重な初心のひと時を支えるお手伝いができればと思っております。

よろしくお願い致します。



### 夏季休室期間について

当相談室は、下記の日程で夏季休室となります。宜しくお願い致します。

**2018年8月1日(水)～2018年8月12日(日)**

なお、休室期間中は留守番電話対応となります。

東洋英和こころの相談室通常開室時間

月～金曜日 午後2時～午後8時

(※木曜日 午後1時～午後8時)

土曜日 午前9時～午後6時

日曜日・祝日 休 室



発行 東洋英和こころの相談室 Tel 03-3583-7463  
URL <http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigaku/shisetsu/kokoro.html>